

# よい授業のポイントー授業づくりのポイント「チェックシート」

視点		No.	内 容	チェック
生き生きとした授業づくりの前提		1	教師間で連携を図り、教材・教具を工夫している。(共同で教材研究、情報共有等)	✓
		2	学習規律(時間、挨拶、話し方、聴き方、学習用具等)を徹底している。	✓
		3	学級に肯定的、共感的な人間関係がはぐくまれている。	✓
		4	既習事項の定着度を把握している。(レディネステスト、アンケート、家庭学習等)	✓
指導過程や授業形態等の工夫・改善	導入の工夫 端的な動機づけによる学習課題の明確化、学習意欲の向上	5	授業中、本時の課題(ねらい、めあて)を明確に示し(板書等)、学習の見通しをもたせている。	✓
		6	「日常生活場面からの問題提示」「驚きや感動を与える導入」「既習事項との関連(習得した知識・技能の活用)に気付く導入」等により学習意欲を喚起している。	✓
		7	「追究したい、解決したい」という必要感が持てる課題を設定している。	✓
	展開の工夫 学習課題の追究、解決に向けた主体的、協働的な学習活動	8	体験的・問題解決的な学習活動を設定している。	✓
		9	自力解決の時間を保障し、児童生徒に自分の考えをもたせている。(自分の考えがもてるように個別の指導・支援を行っている。)	✓
		10	言語活動の充実(話し合い、討論、論述、レポート作成等)を図っている。	✓
		11	「主体的・対話的で深い学び」を意識し、目的に応じたペア学習、グループ学習、協調学習等、児童生徒の主体的・協働的な学習形態を設定している。(その目的や行い方を丁寧に指導している。)	✓
		12	児童生徒の思考を促す発問や理解を深める発問を工夫している。	✓
		13	端的で分かりやすい指示を心掛け、板書とリンクさせてノート指導を行っている。(本時の学習の流れ、思考の流れが確認できる板書を工夫する。)	✓
		14	本時の評価規準に準拠した指導と評価を繰り返している。	✓
	終末の工夫 本時の学びの振り返りと身に付けさせるべき力の定着	15	本時の目標(ねらい、めあて)に即した学習の振り返りを行っている。(自分の言葉で本時のねらいに即した学習のまとめを書かせたり、発表させたりしている。)	✓
		16	本時に身に付けさせるべき知識や技能等の習得状況の確認を行っている。(適用問題等を行い、その時間に学んだことはその時間の中で定着させている。)	✓
		17	次時以降の予告をし、今後の学習活動の見通しをもたせている。	✓
	評価に関する工夫・改善		18	単元・題材の評価規準を設定し、各観点のバランスのとれた評価計画を作成している。
19			学習活動に即した具体的評価規準を設定している。	✓
20			評価結果の蓄積(補助簿の活用)から児童生徒の学習状況を把握し、次時以降の授業改善に生かすとともに、個別の指導・支援を明確にしている。	✓